

会員数 59名 出席者44名・欠席者14名・免除会員5名  
欠 席 者 有家・麻田・和泉享・加内・岸上・中野昌・松山・大西和・高岡・大山  
中野和・菅-会員

前々回出席率 85.9% (12/3)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 岡田 将一郎  
幹 事 陶国 栄帰  
会報委員長 福田 洋子

## お知らせ

## 12月のプログラム

3 (No.1)-年次総会  
10 (No.2)-会員卓話  
17 (No.3)-客話  
24 (No.4)-休会  
31 (No.5)-休会

## 他RC例会変更

丸亀東 12/22 夜間例会  
12/29、1/5 休会  
1/12 夜間例会  
善通寺 12/30、1/6 休会  
坂出 12/22、12/29 休会  
1/5 夜間例会

## ニコニコBOX;

よいことがありました  
秋山憲夫君  
漆原先生のお話を聞いて  
細谷君

<ニコニコ会計累積/¥210,000>

## がんばるBOX;

早退します  
川原君 中川君  
四国学院大学副学長をお迎えて  
岡田君  
一年間お世話になりました  
来年も宜しくお願いします  
陶国君

<がんばる会計累積/¥277,000>

## ■会長挨拶

今年最後の例会となりました。今年最後の例会ですので、個人的な一年を振り返ってみたいと思います。まず、いつも2月に日本酒同好会の旅行に行けたことがコロナ前の最後の旅行でとても良かったです。行先は舞鶴方面で、舞鶴の地ガニの舞鶴ガニの生きたものを食べられまして、おいしかったです。松葉カニと越前カニの間でマイナーな産地ですが、逆にお値打ちで、おいしかったです。皆さんも、カニの季節に近海物を食べるならおすすめです。また、実は金沢のカニもちょっとマイナーで加能ガニと呼ばれ、越前ガニよりもお手頃です。この二つ、良いかもしれません。

それから、エンターテインメントは現在やりにくい状況になっていますので、あまり見ることができませんでした。今年の6月に、ゲスの極み乙女。のライブに岡山に行く予定でしたが、延期となりました。このゲスの極み乙女。ゲス不倫で有名になってしまいましたが、あの川谷絵音さんは音楽的には天才でして、クラシックとジャズとロックを融合した唯一無二の音楽を作ります。特にジャズが好きな人はおすすめです。このライブは、来年の6月に延期になりましたので、何とか開いてほしいと思います。他にも、GO TOで松山に劇団四季を見に行ったのですが、プログラムはコーラスラインでした。劇団四季も、見ると楽しい。おじさんでも感動できます。おすすめです。ちなみに、現在松山は、ロータリーでも行きましたが、その時は芸者とクラブが熱かったのですが、今はお寿司屋さんが熱い。美味しいお寿司屋さんがいっぱいあります。あと、衝撃的だったのは、日本シリーズ、笑うほどソフトバンクが強かった。ずっと阪神ファンですが、もう巨人がんばれ！セリーグ何とかしろのシーズンでした。あと、ゴルフ的には秋に開眼して冬に己を知ることになりましたが、今週の渋野日名子がとても残念でした。惜しかった！ネットでも書かれていましたが、敗因は薄着！見ていても寒そうでした。防寒対策をちゃんとしていたら勝ってたかもしれません。それにしても、渋野日向子はすべてにかわいいので、来年も頑張してほしいと思います。

一年を通じて、今も収束していませんがコロナに翻弄された一年でした。来年は、山北八幡宮の初もうでから始まり、万象園で、屋間の新年会です。また、来年皆さんの笑顔で、新しい一年の始まりを迎えたいと思います。今年今年でいろいろありましたが、それなりに良かった年としましょう。そして来年は、今年よりもっと良い年になります。今年一年間ありがとうございました。

## ■例会事業;客話;四国学院大学副学長 漆原光徳様

「大学におけるコロナ対策について」

新型コロナウイルスの大学への影響ですが、ほとんど全国の大学で3月の卒業式は中止になりました。4月の入学式もほとんどの大学がやっていません。授業の開始については2020年4月23日時点でほとんどの大学が開始時期を延期という状況でした。四国学院大学においては卒業式・入学式は中止となりましたが、新入生のオリエンテーションのみ三密回避で実施しました。通常4月13日開始の授業は延期しましたが、4月20日からは遠隔授業を開始し、6月1日からは対面授業も開始しました。前期の授業は予定通り8月7日に終了しましたが、授業回数の制限から期末試験は実施できませんでした。後期は10月1日から開始しており、約1割が遠隔授業という状況です。2021年から大学入学共通テストが始まり、四国学院大学も試験会場となっているため、新年の1月5日から15日までは遠隔授業とすることを決定しました。



2020.12.17

Vol.58

No23

(2817)

7月17日に文部科学省が全角の授業実施状況を調査した結果、面接授業のみを行っている大学が16.2%、面接と遠隔の併用をしている大学が60.1%、遠隔授業のみの大学が23.8%、ということでした。後期授業の方針については約6割の大学が、おおむね全員の学生が週2日以上通学できると回答しました。ところが実態は、約2割の大学がほとんど遠隔で授業を行っているという状況でした。

四国学院でおこなっている遠隔授業は①四国学院ポータルサイト②ZOOMを用いての授業③moodleというeラーニングプラットフォームの三種類の方法を利用しています。遠隔授業はとても便利ではありますが、様々な問題点もあります。やはり実際に顔を合わせて授業をするということは非常に大切なことです。

今年が大学入試改革の元年です。今年の入試からは学力の3要素「知識・技術」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を判断することになりました。新たに始まる大学入学共通テストをコロナ禍でどのように実施できるのかということが問題となっています。

香川県は進学者の約4割が香川県に残るということで、他県に比べても非常に少ない状況です。これは短期大学も含む数字で、4年制大学においては8割以上が県外へ進学しています。県内大学から県内に就職した学生は40.6%で、県内出身者の77%が県内に就職しているというデータがあり、香川県の人口を維持するには県内の進学者に県内の大学に進学してもらうことは重要であるという分析がされています。

最後に、現在日本人の9人に1人が東京に住んでいるという現実があります。これまで東京は人口が増える一方でしたが、コロナ禍で東京の人口が減っています。都会に暮らすことが本当に幸せなのかという問いかけが出てきています。香川県、丸亀市へのUターン、Iターン、Jターンを増やすチャンスになりえます。丸亀の総合的な地域力が未来へのポイントとなります。